

ご意見の概要と市の考え方

【第1期計画の評価等】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	第1期計画の事業評価をどのように行い、本計画にどのように反映させているのか分かりやすく項目建てする必要があるのではないのでしょうか。	第1期計画に基づく取組内容を評価し、本計画にどう反映しているか分かりやすく項目ごとにまとめます。

【計画の基本的な考え方】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	基本理念、基本目標、施策体系へのつながりについて、もう少し伝わりやすくなるよう工夫していただきたい。	今後5年間の取組みに対する考え方について、市民の方へより伝わりやすくなるように工夫します。

【基本施策に伴う取組（保育サービス等）】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	グループインタビューの内容にあった、次のことに対し対応策をどう考えているか。 ①自然豊かな点に魅かれて移住する人もいる中、園でその魅力を活かせていないと感じる。子どもたちには、江田島の良いものに触れさせて欲しい。 ②各園で園庭開放をしているが、園が歓迎していないと感じることがある。	①については、「心を育む機会の充実」の取組として「特色ある保育事業の充実」、「体験活動等の充実」として取り組むよう計画しています。 ②については、利用しやすい環境づくりに取り組みます。
2	3歳未満児の保育料の料金システムについて、例えば2人兄妹の場合、上の子が同じ保育園に通っていると下の子の料金は半額ですが、卒園すると1人とカウントされ全額負担となる意味が分かりません。 3人目の無料についてですが、3人目がどのような形でも無料ということについて、なぜ3人目なのか明白な理由がよくわかりません。	保育料の軽減措置は、国の基準に基づいて行っています。 第3子以降の無料については、国の少子化対策の一環として、子育て世代の負担軽減を図っています。

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
3	<p>病児保育施設をつくったのに、ほとんど利用されていない。事前登録が必要、かかりつけ医と澤医院（病児保育受入先）の両方にかからなければ利用できない、持ち物が多い、病児自体のストレスが増す等考えられる理由は多数あるので改善し、より利用しやすく、親が安心安全に預けられると信頼してもらえる病児保育施設にして欲しい。</p>	<p>病児・病後児保育事業については、利用しやすい環境となるよう努めていきます。</p> <p>ただし、安心・安全に保育を行うために事前に個人情報（アレルギー等）の把握が必要であることや普段、澤医院を受診されていない場合に、日頃からお子様の体調を診察しているかかりつけ医の診断が必要となりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p>
4	<p>毎年インフルエンザや胃腸炎など感染力の強い病気が蔓延してしまうので、おもちゃ等園児が使用する物、教室の消毒、部屋の換気に加えて、厚生労働省が出している通達の基準により、保育施設や子育て世代包括支援センターの衛生管理を改善して欲しい。</p> <p>また、（保育施設での）流行の状況などの情報や家庭でできる対策について保護者へ通知等アナウンスするべき。</p>	<p>日頃から、物品の消毒や部屋の換気等、衛生管理に努めています。</p> <p>職員の衛生管理に対する意識を深めるため、研修会の実施や衛生管理マニュアルの策定に向けて検討しています。</p>
5	<p>唇が荒れて赤くなっている子どもに対し「リップクリームの使用は市販薬に該当するため持参禁止、一人許可するときりがないのでダメ」という決まりを取りやめるために、保育施設に一斉に通達を出して欲しい。</p>	<p>薬等については、安全に使用するため、医師の指示により処方されたもののみ保育施設で対応しています。そのため、市販薬については対応していません。</p> <p>薬等を安全に使用するため、ご理解をいただきますようお願いいたします。</p>

【基本施策に伴う取組（医療機関等）】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>島内の病院に依頼し産婦人科と小児科を充実させる。例えば、妊婦健診や産後のケアが受けられるように、島内の病院の協力を得て呉市内から定期的に出張で来てもらう。当番医は、日祝の夕方までだが、子どもは夜間体調を崩すことが多いので、夜間診療可能な当番医が江田島市内にあると助かる。島で子育てをしている方は、病院の要望はとても強いと思います。産婦人科が無いことも、とても不便です。急変時に受診するまでに時間がかかることは、不安要素の1つです。</p>	<p>初期医療及び救急医療体制の確保については、地元医師会をはじめ近隣市町と連携し体制の確保に努めています。</p> <p>また、市民の不安軽減を図るため、電話相談（#7119、#8000）や医療機関へのかかり方について普及啓発にも努めています。</p> <p>いただいた意見を考慮し、関係機関と連携し今後も医療体制の確保及び市民への普及啓発に取り組みます。</p>

【基本施策に伴う取組（公園等）】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>休日、子どもを連れて江田島で遊ぼうと思っても、今ある公園では満足して遊べません。ふわふわドームは、ドーム自体が汚く子どもを遊ばせに連れていきたいと思いません。住んでいる近くの公園の遊具は古く、数も少ないので順番待ち、場合によっては取り合いになります。</p> <p>なので、休日などは海田町や呉市の公園まで遊びに行くこともよくあります。せめて広にある公園くらいあれば嬉しいです。</p>	<p>基本施策「子どもの安全・安心の確保」の取組として、いただいた意見を考慮し、安心・安全な遊び場の確保に努めます。</p> <p>公園整備については、公園等管理活用計画に基づき進めてまいります。</p>
2	<p>小規模でもよいので、子どもたちが安心安全に遊べる走り回れる公園を、廃校や廃園を活用し低予算でまかなえる方法を模索すべき。</p>	
3	<p>子どもからお年寄りまで集える公園（広場）が欲しい。例えば、「焼山公園」や「道の駅湖畔の里福富」のような小さな子どもからお年寄りまで楽しめるようなふれあい広場があればいいと思います。</p> <p>週末や連休などに島内・外から「あそこに行こう！」と思えるような場所があれば観光にもつながり、移住を考える若い世代にも響くのではないのでしょうか。</p>	

【基本施策に伴う取組（教育等）】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>基本理念「一人ひとりが自分らしく輝き」というフレーズより、個々が伸びる教育を実践されている人を講師として招き園や学校で取り入れていくと、子どもだけでなく大人（地域の人たちも）や先生方も新しい人材育成に役立てるのではと感じます。</p> <p>一人ひとりが輝くためには、まず心も体も元気であることが大切な土台です。例えば、江田島市の医療費が高いことが課題とすると「園で食を正すことで風邪も減りたくましく一人ひとりの個性を出せる場を叶える園の映画“いただきます～みそを作る子どもたち～”を上映することで意識を高め実際に取り入れられる部分を江田島にも取り入れていくのがこれからの社会では大切なのではと思います。</p> <p>園や学校に求め過ぎると大変と思うので、小さなサークルからでも選択肢が増えるように募集をかけた力を入れていくといいのではと思います。</p>	<p>いただいた意見を考慮し、基本施策「健康づくり」や「心を育む機会の充実」につながる取組として、関係機関と検討していきます。</p>
2	<p>大阪の大空小学校の様に先生も子どもも通いやすい学校をつくって欲しい。（例：長野県佐久穂町の小学校のイエナプラン教育や千葉県いすみ市の学校給食で地域を変える等の取組）</p> <p>島の小学校でも色々な取組が行われているとは思いますが、自分が通っていた頃の学校と大きな差がないように感じます。</p> <p>島だからこそできること、例えば子どもたちが作った野菜を意識してどんどん給食に取り入れたり、下の学年に教えてあげたりすることで自信や経験につながります。高校生になると「将来何をしたいか選んでください」と言いますが、急に言われてもピンときません。自分を試せる場の提供などがあれば「この島に住み続けたい！この島に住む大人のようにになりたい！」と感じさせられる場所づくりがとても必要と考えています。様々なことにチャレンジできる学校があると素晴らしいですよ。</p>	

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
3	<p>江田島市の自然を生かした教育を、保育園から高校まで継続して行う。例えば、オリーブを苗木から育て収穫やオイルをつくる。SUPやカヌーなどの体験学習を体育の授業に取り入れる。地域で実際に携わっている方に外部講師として来てもらうことで、教師の負担軽減にもなるのでは。</p>	<p>いただいた意見を考慮し、基本施策「健康づくり」や「心を育む機会の充実」につながる取組として、関係機関と検討していきます。</p>
4	<p>子どもの体力低下の一因に、夕方の過ごし方があると感じています。こども園から小学校で長い時間過ごす子どもたちは、個性を伸ばせる時間がここにもあると感じています。体を動かすことが好きな子は動ける時間、工作が好きな子は工作、音楽が好きな子は音楽など、民間のサークルでもいいので子どもたちが選択できる時間を設けることができる取組を希望します。学校に外部講師を呼んでの習い事や外で遊ぶのを見守る方がいるだけでも・・・。</p> <p>子どもの可能性を広げ自信にもつながり、小学校時代の楽しい思い出にもなり、また江田島に戻りたいと大人になって次世代へも江田島でというつながりになるのではと感じます。</p>	

【基本施策に伴う取組（子育て支援等）】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>既に子育てを終えたり実際に子育てに関わっていない方では、子育て支援で何が本当に必要か自分事化することができないため、子育ての当事者に江田島市の子育て支援に関わる業務や決定権を与えて欲しい。</p>	<p>基本施策「地域のつながりづくり」における取組において子育てサークル活動の育成・支援を考えています。その中で、子育て中の方のご意見もいただけるように考えています。</p> <p>また、本計画策定の協議の場として、子ども・子育て会議があります。この会議の委員として、保護者代表の方にも参加していただき子育ての当事者の方からの意見も反映できる仕組みづくりに努めています。</p>

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
2	<p>様々な外国籍の方々が住み子育てされている。そうした方々への支援ももっと積極的に行うべき。対策として、有償ボランティアとして通訳やサポート等のお手伝い、外国籍の方に考案してもらった出前講座や異文化交流のイベントの開催。また、外国籍の子育て世代の悩みや等に応じる相談窓口を開設し、悩みや困りごとをリサーチし適切な窓口等を案内する。</p>	<p>基本施策「子育て支援サービスの充実」において、関係機関や団体と連携し外国人家庭への支援に取り組みます。</p>
3	<p>江田島市のホームページが見にくい。今は、スマホで全てまかなう方も多いため、子育て関連の情報を集約したサイトを作成「困った時にはここを見れば大丈夫」と思えるようなサイトにして欲しい。</p>	<p>いただいた意見を考慮し、子育て情報の発信方法について検討していきます。</p>
4	<p>自衛隊の方々の家族の孤立化を防ぐため、自衛隊と子育て世代包括支援センターが協力して精神的ケアやフォローに取り組むべき。残念ながら、センターで育児相談をしようとしたが業務的な対応しかされず相談を諦めたという話を、実際の声として数件届いている。当事者に寄り添って話を聞く体制が必要であると感じた。</p>	<p>いただいた意見を重く受け止め、相談しやすい環境づくりを図るとともに、相談に対応する職員の育成にも努めていきます。</p>
5	<p>何らかの理由があって子育て世代包括支援センターを敬遠し孤立する親子もいるので、なぜセンターを利用したくないのか？という声にも耳を傾けていく必要がある。</p> <p>定期的に保育施設や子育てイベント、別部署主催の地域イベント等に出向いてセンターの取組を地域の子育て層に見てもらい、また子育て層の意見を積極的に拾いに行く姿勢が欲しい。</p>	<p>子育て世代の方からの意見を聞かせていただき、子育て世代包括支援センターが利用しやすい施設となるよう改善していきます。</p> <p>また、出前講座を積極的に行い地域に出向いた取り組みも実施します。</p>

<p>6 子どもの健やかな成長を願うなら食を強化するのが1番大切と感じます。食を見直すことで、今子どもたちに起きているイライラ行動や体調不良などの問題も減らせるのではと感じています。子どもに直接関わる給食の質を上げることで、給食費の値上がりになるかもしれないけど、未来の子どもに投資する意味で市が負担するのも良いと考えます。</p> <p>トランス脂肪酸等、外国で規制や禁止されているものは、少なからず子どもへの影響が出ると感じるので、みそなどの調味料を作ったり、食に対する意識を上げていける機会を授業や地域のサークルで取り入れるなどして給食に反映させたいで。</p>	<p>○トランス脂肪酸については日本では規制されていませんが、可能な限り含まれていない物を使用するようにしています。</p> <p>給食で使用できる食材は、衛生上の問題から許可を受けた店舗や団体が取り扱っている物に限られますが、保育施設の体験事業で作ったみそと、園庭で育てた野菜などでみそ汁を作るとは可能と考えられます。いただいたご意見を参考にし、食に係る体験の場の提供に努めます。</p> <p>○野菜や果物、みそやしょうゆの調味料など可能な限り地元産の食材を使用したり、「えたじまん食育レシピ」のメニューを給食で提供するなど、地産地消に取り組んでいます。今後も、関係機関と連携し、地産地消も含め食育の推進に努めます。</p>
<p>7 食に対する関心を高めていきたい。</p> <p>給食の内容、使う野菜や調味料、食材へのこだわり、島の特産（大豆やみかん）を使うなど。</p> <p>保護者からメニューのアイデアやリクエストを募るなど子どもたちの“食”について共に考え共有することで大人たちの“食への関心”も高まると考える。</p>	
<p>8 妊娠から子育てまで手厚い支援があればたくさん子どもが欲しいと思いますが、現状では不安を抱えているので「もう一人」という考えには至っていません。出産できる産科がないのも要因の一つ。</p>	<p>基本施策「相談体制の充実」において妊娠期からの子育て期にわたる切れ目のない支援体制づくりに取り組みます。特に、支援のスタートとなる妊娠期への支援の充実を考えています。</p>

【その他】

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
1	<p>P54「地域保育型」と「施設等利用給付」について本市で利用が可能であるのかどうか、説明を付してはどうか。</p>	<p>「地域保育型」については本市に該当施設がなく、「施設等利用給付」については、病児・病後児保育事業やベビーシッターといった認可外保育施設のみとなることから、いただいたご意見を基に、再度、内容を検討しこの表現を用いる必要性がないと判断し消除します。</p>

No.	ご意見の概要	江田島市の考え方
2	<p>P56 (1) 利用者支援事業と (2) 地域子育て支援拠点事業の「1か所」とは、子育て世代包括支援センターという認識でよいか。</p>	<p>お見込のとおり、(1) 利用者支援事業と (2) 地域子育て支援拠点事業の「1か所」は、子育て世代包括支援センターとなります。</p>
3	<p>子育て層が呉や広島に積極的に働きに出やすくするため、航路の確保もしくは定期代補助を行ってはどうか？例えば、中町港の高速船を広島市と呉市のどちらにでも行けるようにし、申請すれば定期代の補助が受けられるようにする等。</p>	<p>子育て層への交通費支援として、現在、通学定期が定価の2/3の額で購入できる措置を行っています。もし通勤者へ同等の措置を行った場合、数億円の経費が必要となります。また、中町港の高速船の寄港地を増やした場合、燃料費等の経費が増大し、現行の料金や便数は維持できなくなります。</p> <p>現在、江田島市内には広島・呉行き7航路約130往復の船便、26系統のバス路線が運行しております。将来的にも公共交通が維持できる範囲において、より利用しやすいダイヤやバス路線網の構築などの改善に努めてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。</p>
4	<p>江田島ならではの特色を活かすなら、自然、人のあたたかさ（つながり）を存分に楽しめる授業やサークルを増やすべきと感じます。市外、県外、海外からわざわざ民泊で来てもらえる場であるからこそ、江田島にいる子どもたちが自信を持ってPRできるほど江田島のよさを味わえる体験が必要と思います。</p> <p>自然を大事にできる環境問題にも取り組める授業やサークルなども希望します。例えば、カキいかだのプラスチック棒など拾ったらポイントとなり環境にちなんだ物と交換できるなど、意識を向けて江田島の自然を守る人になることにつながると思います。</p>	<p>いただいた意見を参考に、関係者や関係機関と連携し子どもたちが江田島市のよさを体感できる機会や、自然を大切にすることを考えられる場を確保できるよう努めます。</p>